※令和４年度以降入学生用

学校番号	T0203

令和５年度　教養

教科	教養	科目	日本語Ｂ	単位数	１単位	年次	1～2 次
使用教科書	なし						
副教材等	自主作成教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、日常生活の基本的な場面を想定し、簡単な日本語によるコミュニケーション活動を行います。
・日本語学習の初級段階での会話力を身につけることを目指しましょう。
・授業では、様々な形式、内容、分野の文章を扱います。日本語の力だけでなく、文化や自然に対する理解を深め、自らの考えを「書くこと」「話すこと」によって表現してください。

2　学習の到達目標

・日本の文化や言葉の知識を増やし、学んだ知識を自らの言語活動に活かす。
・他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自らの考えを深める。
・日本文化や日本語の特徴に関心を持ち、自らの言葉遣いを振り返ることができるようになる。言葉を通して他者や社会と関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本の文化や自然に触れる活動を通して、幅広い教養をみにつけるとともに、学習した内容や他者との意見交換で学んだことを、自身のものの見方や考え方に活かすことができるようになる。	提示された例文を参考に、学習した言葉や表現、文型をつかって、自分の考えをまとめたり、コミュケーションを図ったりする力を養う。地域と日本文化とのかかわりを重視し、問題解決能力や多面的・総合的な見方を培う。	生徒が知的好奇心や探究心を持って、日本文化に親しみ、地域と文化、文学とのかかわりについての理解をさらに深めるため、自主的に学ぼうとする態度を身につけることをめざす。日本文化や日本語の特徴を学び、互いの考えや気持ちを伝え合う姿勢を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	計画をたてる	外出や旅行をテーマに、日本語の表現や言葉の意味とその使われ方を学ぶ。学んだ知識を日常会話で活用できるように、ロール・プレイングをはじめとする実践的な会話練習を繰り返し行う。	a：日本語の文法、言葉の意味や使い方を理解している。 b：会話例を用いて、具体的な場面を想定した会話ができる。 c：積極的に自らの気持ちや考えを伝えようとしている。また、相手の伝えたい内容を理解しようと努めている。	ワークシート	ワークシート 観察	振り返りシート 観察
後期	公共のものを利用する	公共交通機関や施設の利用をテーマに、日本語の表現や言葉の意味とその使われ方を学ぶ。学んだ知識を日常会話で活用できるように、ロール・プレイングをはじめとする実践的な会話練習を繰り返し行う。	a：日本語の文法、言葉の意味や使い方を理解している。 b：会話例を用いて、具体的な場面を想定した会話ができる。学んだ文法や言葉を用いて、文章を書くことができる。 c：日本語を用いたコミュニケーション活動を積極的に行っている。	ワークシート	ワークシート 観察	振り返りシート 観察

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度